

榎野川河口域・干潟自然再生協議会

ニュースレター

No.17

2021年3月発行

トピックス

『ふしの干潟いきもの募金』の運用

今年度も多くの方から、ご寄附をいただきました。心のこもったご寄附をいただき、誠にありがとうございます。昨年度から「ふしの干潟いきもの募金」を活用した活動支援の取組を開始し、活動が充実してきました。また、企業様・ふしの干潟ファンクラブ・一般のボランティアの皆様など多くの方にご協力いただいております。

<ご寄附をいただいた団体>五十音順・敬称略

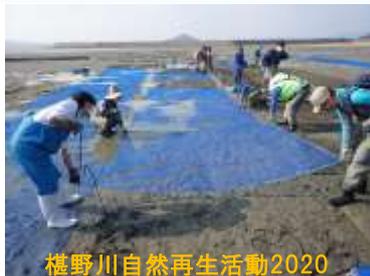
あいおいニッセイ同和損害保険(株)／山口県漁業協同組合吉佐支店山口支所／道の駅きらら阿知須／山口県職員会館(県庁売店)他

<ご寄附の様子>

<支援対象活動例>



あいおいニッセイ同和損保様から



榎野川自然再生活動2020



カブトガニ幼生生息調査



いきもの観察会



底生生物モニタリング



ドローンを活用した調査



二島小学校の授業との連携



二島小学校5年生の地元PR作品

<企業様・ふしの干潟ファンクラブのご協力>



肉食性巻貝の二枚貝の捕食研究



あいおいニッセイ同和損保様地



伊藤園様



ふしの干潟ファンクラブの方

新型コロナウイルス感染症の影響による活動の変更

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、「榎野川河口干潟再生活動」や、「クロツラヘラサギの保全のための海岸清掃」などの自然再生活動を中止しました。

一方、感染の状況を注視しながら、感染防止対策を徹底して、カブトガニ幼生生息調査・観察会や、アサリ等の底生生物の再生のための被覆網のメンテナンス、調査・研究を行ないました。

これまで、できることから順応的に自然再生に取り組んでいくこととしており、新型コロナウイルスの影響下においても同様に、できることを考えながら着実に進めてまいります。

協議会の紹介VTRの作成

環境省の事業により協議会の紹介VTRを作成しました。協議会のホームページに公開しています。ぜひご覧ください。



榎野川河口干潟再生活動2020 ～～やまぐち森・里・川・海自然再生プロジェクト～

- 開催日：2020年10月29日（木）12:00～14:00
- 主催：榎野川河口域・干潟自然再生協議会 干潟・水産資源再生WG
- 概要：毎年多くの関係者やボランティアの協力を得て実施している干潟の再生活動であり、2020年4月25日（土）の開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止しましたが、アサリ再生のための被覆網が、台風10号や老朽化の影響により、砂が堆積し、破損も認められるため、協議会が主体となり、以下の作業を実施しました。
 - ① 砂に埋まったり、波によりめくれた被覆網を再設置
 - ② 破損した被覆網の修繕
 - ③ 老朽化した被覆網の撤去、交換（被覆網3m×3m(9mm目合)を48枚）
- 備考：ふしの干潟いきもの募金支援対象事業

◆被覆網の再設置、修繕、撤去、交換状況



◆南潟の上空写真（左：作業前、右：作業後）



◆集合写真



カブトガニ幼生生息調査・生物観察会

- 開催日：2020年8月22日（土）、2020年8月31日（月）
- 主催：榎野川河口域・干潟自然再生協議会
- 協賛：あいおいニッセイ同和損害保険(株)山口支店、(株)伊藤園山口支店
- 協力：あいおいニッセイ同和山口支店プロ会
- 備考：ふしの干潟いきもの募金支援対象事業



448匹

発見数

山口湾は「生きている化石」カブトガニが生息する貴重な地域です。

山口カブトガニ研究懇話会の原田代表が、カブトガニWGのグループリーダーとなり、山口大学やボランティアの協力を受け、生息調査を行っています。

今年度は、新型コロナウイルスの感染対策を取りながら、企業や一般のボランティアの方々に御参加いただきました。

長浜の調査では、途中から雷雨となり調査を切り上げたため、参考値として暫定の発見数を計上しました。

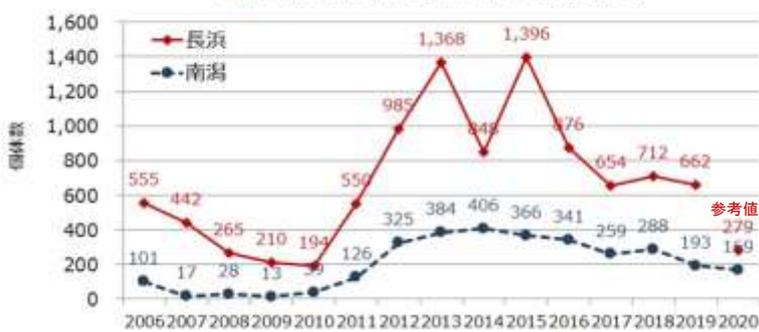
調査後には、かき氷のサプライズプレゼントがありました！

生物観察会も併催し、子供達がカブトガニ等の干潟の生物に触れる貴重な機会となりました。



場所	開催日	調査参加者	生物観察会参加者
長浜	2020年8月22日	51人	38人
南潟	2020年8月31日	17人	—

長浜・南潟のカブトガニ調査結果 <発見個体数>



※南潟：2018年のみライン6（300m）を実施

山口市立二島小学校の総合的な学習の時間との連携

協議会の委員である、山口カブトガニ研究懇話会の原田代表と、水産大学の南條先生と学生の協力を得て、山口市立二島小学校5年生の総合的な学習の時間と連携しました。6月にカブトガニ観察会、10月に干潟の生き物観察会を実施しました。その後、5年生が1月の学習発表会において成果を発表しました。

地元で干潟が保全され、多様な生物が生息していることの大切さに気づき、地元のPRや啓発のための、ポスター、歌・ダンス、牛乳パックを使ったカブトガニの模型などを作りました。

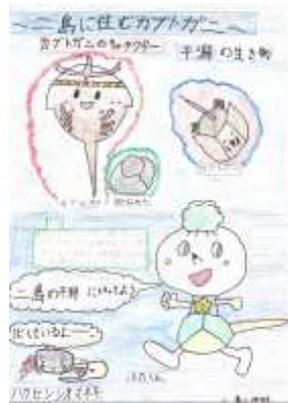
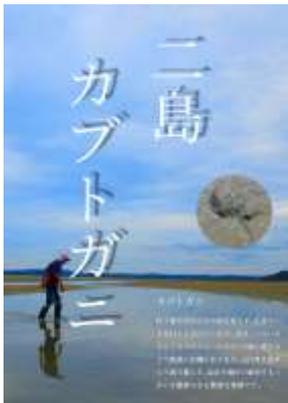
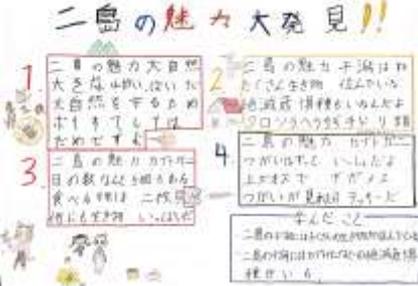
◆カブトガニ観察会、干潟の生物観察会の様子



◆二島小学校5年生の学習発表会の様子



◆二島小学校5年生が作成した地元のPRや啓発のための作品



野鳥の教室 @きらら浜自然観察公園

10月と2月に山口市環境政策課が開催しました。きらら浜自然観察公園のレンジャーの解説を聞きながら、野鳥を観察したあとに、自然の素材を使った工作教室も開催しました。



榎野川流域の活動紹介



自然再生協議会会議

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、2020年6月に第28回会議、2021年3月に第29回会議を书面開催しました。第28回会議では、第1回ふしの干潟いきもの募金の実績報告や第2回同募金の支援対象活動の説明及び承認等がありました。第29回会議では、第2回支援対象活動の経過報告や、あいおいニッセイ同和損害保険㈱からの寄附金贈呈式の報告等がありました。

- 底生生物モニタリング調査及び被覆網への藻の付着影響調査 (県環境保健センター 環境科学部 下尾専門研究員、上原専門研究員)
- UAVを用いたカブトガニ産卵状況・幼生数調査 (山口大学 山本浩一)
- 干潟に生息する肉食性巻貝と二枚貝の捕食一被捕食関係の解明 (水産大学校生物生産学科沿岸生態系保全研究室南條楠土)
- 干潟域を生活史で利用する魚類の生態と成育場の生息環境に関する研究Part2 (瀬戸内海区水産研究所 ○辻野睦、重田利拓)
～・アサリ被覆網内外のマクロベントスと線虫類の変化 ・しじみ漁場の線虫類～

【お問い合わせ先】

榎野川河口域・干潟自然再生協議会 事務局 (山口県環境生活部自然保護課)
TEL : 083-933-3060 FAX : 083-933-3069 Mail : a15600@pref.yamaguchi.lg.jp
※ 会議資料やイベント情報等は、山口県自然保護課、山口市環境政策課のホームページで公開しています。

Facebook 県HP